

一人一人が備えてこ！ 防災力UP！鳥羽

総務課防災危機管理室

☎(25) 1118



津波避難場所での安全・安心の確保に向けて

津波からの避難は長時間に及ぶことが想定されています。建物付近にない津波避難場所では、夜間や悪天候の場合であっても、大津波警報などが解除されるまでは屋外にて長時間滞在することを余儀なくされます。

避難者の安全・安心を確保するため、建物が近くにない津波避難場所における防災倉庫や必要な資機材の整備をする町内会・自治会への補助制度を設けました。

津波対策用自主防災倉庫等整備費補助金について

補助対象団体 自主防災倉庫などを整備する町内会または自治会

補助対象経費 原則、備品の購入費とし、工事費などは含

みません。ただし、防災倉庫のみ工事費も対象経費としません。対象の物品は次のとおりです。

- ・ 防災倉庫
- ・ 非常用発電機
- ・ 投光器
- ・ 簡易トイレ（付随する処理剤含む）
- ・ 避難所用間仕切り類（パーティション、簡易テントなど）
- ・ 浄水器（孤立可能性のある地区への整備に限る。また、家庭用浄水器・簡易なものは除く）
- ・ 災害対応型LPガスバルブ供給システム
- ・ 床材・マット
- ・ 停電時電源切替装置（停電発生時に、発電機などの外部電源から体育館などへの建屋へ電気を送り、既設の電気機器やコンセントを利用可能とするシステム）

※これ以外でも市長が必要と認めるものは対象とします。

補助金額

区分	補助率	補助金限度額	
		防災倉庫を含む整備の場合	防災倉庫以外の整備の場合
市内本土に存する団体	3分の2	30万円	30万円
市内離島に存する団体	3分の2	50万円	30万円

※ただし、補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとします。

申請については、市ホームページを参照してください。

<http://www.city.toba.mie.jp/bousai/>

jisyubousaisouko.html

イコール パートナーシップ

Vol.122



あらためて、イクメンとは

市民課人権・生活係
☎(25) 1126

6月17日、鈴木英敬三重県知事が、絵本「パパはどうしてパパなの？」を出版しました。

知事は、2012年に自ら育児休暇を取得するなど、男性の育児を積極的に推進しています。2015年には「イクメン・オブ・ザ・イヤー特別賞」を受賞しました。また、今年には「第35回ベスト・ファザー・イェローリボン賞・政治部門」を受賞するなど、イクメン中のイクメンです。

知事は、「この絵本は命のこと、生きること、家族のことなど、子どもが疑問に思うことの答えになる内容にしました。そして一番伝えたいことは、パパはずっとパパだったわけじゃなくて、君たちが生まれてきてくれたからパパになれたし、それがとっても嬉しいんだってこと。パパにはこの本を子どもに読み聞

かせてもらって、育児に参加するきっかけになつてほしいと思います。そして、パパが読み聞かせをしてあげている間に、ママには少しでも休んでもらえるとうれしいです」とコメントしています。

また、「育児には正解はありません。100家族があれば、100通りの子育てがある。答えがないから大変だけれど、どんな結果が出るのかという楽しみもある。ただ答えがないからと言って顔の見えない人の言葉に左右されるのはとても危険。信頼できる人の声、生身のコミュニケーションからアドバイスを得ることが大切です」ともコメントしています。

育児は「手伝つ」「参加」ではなく必然的に「する」こととです。あらためて、「イクメン」育児をする男性^{イクメン}を楽しみながら目指してみませんか。